

市政に対する

一般質問

一般質問は3月17日・18日・19日の3日間にわたって行われ、12人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁とともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

なお、会議録は市立図書館等で閲覧することができます。また、本会議の会議録はホームページでご覧いただく事もできます。ただし、最新の会議録の提供までには3ヵ月程度かかります。

都市計画街路 越谷吉川線について

中嶋 通治

(問) 街路建築に際し、信号機、横断歩道の設置について栄町地区の自治会、町会との協議はいかがかなされたのか。

(答) 都市建設部長 栄町一区自治会より提出されている要望書は埼玉県警、吉川警察署に要望している内容であり、内

部協議においても横断者の安全を高めるため必要と考え、設置に対して強く要望します。

◆AED(自動体外式除細動器)について

市内、公共施設、民間施設の設置状況について。

(問) 市内、公共施設、民間施設の設置状況について。

(答) 市長 小中学校を含めた公共施設に18カ所、民間施設で28カ所設置されています。なおコンビニ等にAEDが設置されていれば市民が安心して暮らせるまちづくりに役立つものとして今後働きかけます。

◆AED中学生への講習について

(問) い　　暁、災害が起きた時には

大人は仕事に出ていて帰宅することが出来ません。災害時に救助活動が出来るのは中学生や高校生ではないかと考えます。普通救命講習会を行ないます。普通救命講習会を行なう事は、生徒に対しても命の尊さを学んでもらう絶好の機会であると思いますが見解は。

(問) ●配偶者暴力被害者の緊急一時宿泊に、一泊8千円まで助成や●乳児院ショートステイ等、具体的事業内容を3月議会で提案も審議もされていない時点で、個人の後援会二ニュースに出すのはいささか感想を寄せていました。今後は、このような取り組みを実態に合わせ実施いたします。

市長後援会発行の「たねしげニュース」について

稲垣 茂行

(問) 平成22年2月4日発行の「たねしげニュース」の中に

3月議会で、初めて提案された事業の具体的な内容が掲載されているが、なぜこの様な新聞折込チラシを入れたのか。

(答) 市長 例年1月に発行していたが、この度は2月にした。

掲載内容は、例年と同様の構成で、新たな年に向かって私自身が取り組んで行きたい政

策を述べた。

なお、配布については、公職選挙法に抵触するものではないと認識している。

(問) ●配偶者暴力被害者の緊急一時宿泊に、一泊8千円まで助成や●乳児院ショートステイ等、具体的事業内容を3月議会で提案も審議もされていない時点で、個人の後援会二ニュースに出すのはいささか感想を寄せていました。今後は、このような取り組みを実態に合わせ実施いたします。

(問) 「公」の立場である市長と一政治家としての「私」の立場を混同しているのではないか。公と私の区別をどう考へているのか。

(答) 市長 内容は自分がまとめたが、作成は後援会として行った。予算づけについては、職員が流したのか。

(問) 「公」の立場である市長と一政治家としての「私」の立場を混同しているのではないか。公と私の区別をどう考へているのか。

(答) 市長 権腐10年、市長は「裸の王様」になっているのではない

(問) 予算も職員も全て、市民から預ったもので、住民の福祉の増進のためにあることを、肝に銘じていただきたい。

(答) 市長 公私混同とは考えて